

事前点検シート

計画主体名		南三陸町	
計画期間	H 2630 ~ H 2831	総事業費 (交付金額)	(198,540千円 (99,270千円) )
実施期間	H 2630 ~ H 2831		86,900千円 (46,450千円)

項 目	チェック欄	判 断 根 拠
増改築等若しくは合休又は古材又は古材を利用した施設整備を行う場合は、農山漁村活性化プロジェクト支援(復興対策)事業の取扱について(平成24年1月16日付け23農振第2183号農林水産省農村振興局長通知。以下「事業の取扱」という。)に定める基準を満たしているか	○	施設整備に当たっては、実施要綱、要領の基準を満たしている。
交付対象とする施設等は減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第34号)別表等による耐用年数がおおむね5年以上のものであるか	○	建物、付帯設備とも5年以上のもののみを交付対象としている。
事業内容、事業実施主体等については事業の取扱等に定める要件等を満たしているか	○	事業内容、実施主体とも、事業要件を満たしている。
個人に対する交付ではないか、また目的外使用のおそれがないか	○	町が実施主体であり、公益のために設置するものであることから、目的外使用のおそれはない。
施設等の利活用の見直し等は適正か	○	
地域間交流の拠点となる施設にあつては当該地区の入り込み客数や都市との交流状況(現状と今後の見込み)を踏まえているか	○	観光部門と協力して、入り込み客数の把握を行っており、交流拠点となつていた施設の過去の実績を踏まえて交流人数の見込みを算定している。
近隣市町村の類似施設等の賦存状況と利用状況等を踏まえているか	○	近隣には類似施設は見当たらない。
利用対象者、利用時期など施設の利用形態を検討しているか	○	交流拠点となつていた施設の過去の実績を踏まえた検討を行っている。
施設等の規模や設置場所、地域における他の施設との有機的な連携等、当該施設等の利用環境等について検討されているか	○	地域との連携を考慮し、また、自然を学び交流を行う上で最適な配置となつている。

事業費積算等は適正か			
○ 過大な積算としていないか			事業費については、適切な積算により算出している。
○ 建設・整備コストの低減に努めているか			必要にして十分な仕様とし、コストの低減を図っている。
○ 附帯施設及び備品は交付対象として適正か(必要性はあるか、汎用性の高いものを交付対象としていないか)			施設の運用に必要かつ適正なもののみを対象としている。
○ 整備予定場所は、集客の立地性、農林漁業者の利便性等、施設の設置目的から勘案して適正か			整備予定場所は、交通の便が良く、かつ、自然を学ぶ交流を行う上で最適な配置となっている。
○ 施設用地が確保されている又は確保される見通しがついているか			予定地は町有地である。
○ 体験交流機能に加え宿泊機能を備えた施設を整備する場合には、事業の取扱に定める基準を満たすとともに、その必要性について十分に検討しているか			
○ 交付対象は施設別上限事業費及び上限規模の範囲内か			
○ 処理加工・集出荷貯蔵施設については、「強い農業づくり交付金実施要領」(平成17年4月1日付け16生産第8262号農林水産大臣官房国際部長、総合食料局長、経営局長通知)別記IIの第1の2の(4)のウの基準に照らし適正であるか			
○ 地域間交流拠点については、延べ床面積 $1,500\text{m}^2$ 以内であるか			地域間交流拠点の延べ床面積は <del>642549.1</del> $642549.1\text{m}^2$ である。整備費(改修費+設計費+施工監理費)は延べ床面積内あたり29万円を超えてはならず、交付申請は限度額内で行い、超えた部分については町が費用負担を行う。
○ 事業実施主体の負担(起債、制度資金の活用等を含む)について十分検討され、適正な資金調達計画と償還計画が策定されているか			町負担額についても十分な検討を行っている。
○ 整備後において施設の管理・運営が適正に行われる見込みであるか			
○ 維持管理計画は適正か(施設の管理・更新に必要な資金は検討済みか)			公共施設の維持・管理計画に組み入れた適正な管理を行うこととしている。
○ 収支を伴う施設等にあつては収支計画を策定しているか。			

注) 項目について該当が無い場合はチェック欄に「-」を記入すること。